

若い力がトルコの成長を加速させる

先日、2010年に行われた日本の国勢調査の結果が発表されました。高齢化率は世界最高を更新する一方で、生産活動に携わる15～64歳の労働力人口は5年で336万人減少と、横浜市と同じ程度の人口が消えた計算になり、日本の少子高齢化を顕著に表わす結果に注目が集まりました。

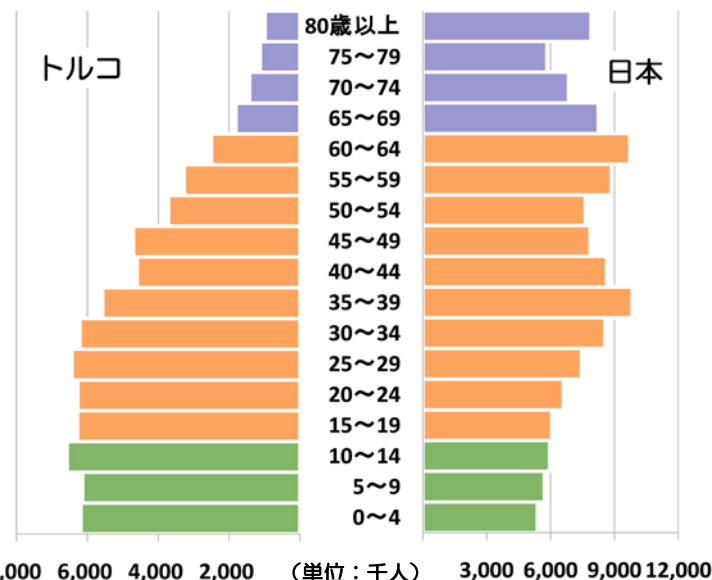
一方で、労働力人口が増加しているのがトルコです。2010年の労働力人口の割合は約67.2%で、今後2030年まで伸び続けると予測されています。

労働力人口の拡大は、新興国の経済発展における最も大きな要因のひとつに挙げられています。労働力人口が増加すればその国の生産力は向上し、それに比例して所得水準が向上。そして消費拡大につながり、経済が発展すると考えられます。

またトルコは他国と比較して婚姻率が高い傾向があります。平均の初婚年齢も先進諸国が20代後半であるのに対しトルコは24.5歳と若く、若年層が新しい家庭を持つことによる消費拡大なども期待されています。

若い労働力とそれに伴う旺盛な消費力が、今後トルコの経済成長を加速させるかも知れません。

トルコと日本の人口構成



(出所) トルコ: トルコ統計局 / 日本: 総務省

各国の婚姻状況

国	婚姻率 (%)	平均初婚年齢	
		男性	女性
トルコ	9.0	26歳	23.4歳
ロシア	8.3	26.3歳	23.6歳
ウクライナ	6.9	25.9歳	23.1歳
ルーマニア	6.9	29.2歳	26歳
日本	5.6*	31.1歳	29.4歳
チェコ	5.0	31.2歳	28.9歳
ドイツ	4.6	33.7歳	31歳
フランス	4.3	33.4歳	31.6歳
イタリア	4.2	33.3歳	30歳
ハンガリー	4.0	32歳	29.7歳

(出所) 日本婚姻率: 厚生労働省 *国内の日本人のみ
 婚姻率 = (年間婚姻届出件数) ÷ (10月1日現在日本人口) × 1,000
 日本除く各国平均初婚年齢: 国際連合

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。<審査番号: 57525.OTHER.MED.OTU>
 © 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.